

「M情報デスク」サポート団体  
 救う会大阪 NO!民主桜組  
 米国に原爆投下謝罪を求める会  
 大阪の公教育を考える会  
 スパイ防止法の制定を求める会  
 外国人参政権に反対する会・関西  
 日教組の憲法行為を自及する市民の会  
 竹島を奪還する会・関西  
 靖国神社に眠る御霊に感謝する会

# MASUKI INFO, DESK FIGHTING REPORT



No. 118  
 【発行・編集】  
 MASUKI情報デスク  
 増木直美  
 大阪府豊中市上新田2-6-25-113  
 TEL 090-3621-1509  
 FAX 06-6835-0974  
<http://mid.parfe.jp/>  
 mid@jewel.ocn.ne.jp

## 被災された東北地方の皆様 心よりお見舞い申し上げます

天皇陛下のお言葉 平成二十三年三月十六日

この度の東北地方太平洋沖地震は、マグニチュード9.0とい  
 う例を見ない規模の巨大地震であり、被災地の悲惨な状況に  
 深く心を痛めています。地震や津波による死者の数は日を追っ  
 て増加し、犠牲者が何人になるのかも分かりません。一人でも  
 多くの人の無事が確認されることを願っています。また、現在、  
 原子力発電所の状況が予断を許さぬものであることを深く案  
 じ、関係者の尽力により事態の更なる悪化が回避されること  
 を切に願っています。現在、国を挙げての救援活動が進めら  
 れていますが、厳しい寒さの中で、多くの人々が、食糧、飲料  
 水、燃料などの不足により、極めて苦しい避難生活を余儀なく  
 されています。その速やかな救済のために全力を挙げることに  
 より、被災者の状況が少しでも好転し、人々の復興への希望に  
 つながっていくことを心から願わずにはいられません。そして、  
 何にも増して、この大災害を生き抜き、被災者としての自らを  
 励ましつつ、これからの日々を生きようとしている人々の雄々  
 しさに深く胸を打たれています。

自衛隊、警察、消防、海上保安庁を始めとする国や地方自  
 治体の人々、諸外国から救援のために来日した人々、国内の  
 さまざまな救援組織に属する人々が、余震の続く危険な状況  
 の中で、日夜救援活動を進めている努力に感謝し、その労を深  
 くねぎらいたく思います。

日本大震災 「早く逃げて」命かけた防災無線…南三陸  
 毎日新聞 3月13日(日)22時37分配信  
 「早く逃げてください」 街全体が津波にのみ込まれ約

### 樺太の真岡の電話局員と同じです

「早く逃げてください」 街全体が津波にのみ込まれ約

今回、世界各国の元首から相次いでお  
 見舞いの電報が届き、その多くに各国国  
 民の気持ちや被災者とともにあるとの言  
 葉が添えられていました。これを被災地の  
 人々にお伝えします。

海外においては、この深い悲しみの中で、  
 日本人が、取り乱すことなく助け合い、  
 秩序ある対応を示していることに触れた  
 論調も多いと聞いています。これからも皆  
 が相携え、いたわり合って、この不幸な時  
 期を乗り越えることを衷心より願ってい  
 ます。

被災者のこれからの苦難の日々を、私た  
 ち皆が、さまざまな形で少しでも多く分  
 ち合っていくことが大切であろうと思っ  
 ます。被災した人々が決して希望を捨て  
 ることなく、身体(からだ)を大切に明日  
 からの日々を生き抜いてくれるよう、ま  
 た、国民一人ひとりが、被災した各地域  
 の上にこれからも長く心を寄せ、被災者  
 とともにそれぞれの地域の復興の道のり  
 を見守り続けていくことを心より願ってい  
 ます。

1万7000人の人口のうち、約1万人  
 の安否が分からなくなっている宮城県南  
 三陸町は、町役場が跡形もなくなるなど  
 壊滅した。多くの町職員や警察官、消防  
 職員が行方不明となったが、その中に津  
 波に襲われるまで防災無線放送で住民に

避難を呼びかけた女性職員がいた。  
 「娘は最後まで声を振り絞ったと思  
 う」。同町の遠藤美恵子さん(53)  
 は、避難先の県志津川高校で涙を浮  
 かべた。娘の末希(みき)さん(2  
 5)は町危機管理課職員。地震後も  
 役場別館の防災対策庁舎(3階建て)  
 に残り、無線放送を続けた。

難を逃れた町職員(33)による  
 と、地震から約30分後、高さ10  
 メートル以上の津波が町役場を襲っ  
 た。助かったのは10人。庁舎屋上  
 の無線用鉄塔にしがみついていた。  
 その中に末希さんはいなかった。  
 遠藤さんは「生き残った職員か  
 ら」「末希さんが流されるのを見た」  
 という話を聞いた。もうダメだと思  
 う」とつぶやいた。地震直後、遠藤  
 さんの知人、芳賀タエ子さん(61)

は「6メートル強の波があります。  
 早く逃げてください」という末希さ  
 んの放送の声を聞きながら、携帯電  
 話だけを持ち、着の身着のまま車  
 で避難所の志津川高校のある高台を  
 目指した。停電で信号が動いておら  
 ず、周辺道路は渋滞していた。高台  
 への道路を上がる時、振り向くと渋  
 滞の列からクラクションが鳴り響  
 き、その背後から津波が家屋などを  
 なぎ倒しながら追いかけてくるのが  
 見えた。芳賀さんは懸命にアクセル  
 を踏み、数十メートルの高さの高台  
 に逃れた。車を降りて避難所の階段  
 を上がった。遠藤さんもまたま避  
 難していた。芳賀さんは遠藤さんの  
 手を握って言った。「娘さんの声がす  
 っと聞こえたよ」高台から見下ろす  
 街は濁流にのみ込まれていた。

「M情報活動報告」編集ポリシー：政治や市民活動に全く無縁だった人達に、日常語で政治を届ける

# 菅直人総理大臣

当直外科医、菅直人は、今一生懸命交通事故にあった患者「日本国を緊急手術している。ところが彼、知る人ぞ知る「ヤブ」。しかし執刀医は彼一人。とりあえずは彼に緊急処置をさせなければ仕方がない。問題はその後だ。誰がいつから本格的治療を開始するかだ。手術室からICUに移すとき？ ICUから一般病棟に移すとき？ 病院から退院するとき？

「ビートたけし生放送で激怒」泥棒は撃ち殺せ。議員は作業服着るなら被災地行け」

タレントであり映画監督でもあるビートたけし(北野武)さんが、東北地方太平洋沖地震の被災地で火事場泥棒をしている犯罪者や、わざとらしく作業服を着てマスコミの前に出ている国会議員に対して、フチギシ寸前の怒りをあらわにしている。

ビートたけしさんはBSのニュース番組「情報7days ニュースキャスター」(19日)に出演して東北地方太平洋沖地震に言及。死体から金品を盗んだり、空き巣に入ったりのしている火事場泥棒に対して「泥棒は撃ち殺していい」と発言。視聴者やインターネットユーザーらに衝撃を与えている。以下は、ビートたけしさんの発言をまとめたものである。

「腹立たしいのは、日本人はいつからこんなにマヌケでセコくなったのかって！泥棒が死体からお金を盗ったりさ、空き巣に入ったりさ、いろいろやるでしょ？ ああいうのはね、撃ち殺していいと思

うんだよね」

「わざとらしいのはさ、国会議員がジャンパー(作業服)着てるけど何の役にたつのあれ？ だったら現地行けっていうんだよね。現地行かないでさ、コンビニまわって物が無いの確認してどうすんだってね。(物が無いのは)みんな知ってるよ！(作業服の)襟立てたりしてね。そりゃ宝塚だろ！ 本当にダメだね！」

「病気になるっちゃってんだよもう。俺ももうね、ゲリが凄いなだもの。毎日嫌なニュースばっか見てたらアッって調子悪くなっちゃって。これ日本国中みんな調子悪くなっていると思うよ。精神安定剤とか飲まないと思てられないもん」

「励ますとかね、そういうわざとらしいのやめてくんないかな？ 何いってやんだと思うよー」

いつもはジョークまじりで、どんなニュースでも穏やかに話すビートたけしさんだが、今回ばかりは口調が強く、そして怒りに満ちていた。地震や原発事故に対する怒りというよりも、わざとらしいパフォーマンズをする議員や心ない行動をする日本人たちに向けた怒りである。

北沢防衛相、「決断」丸投げ 現職自衛官が悲痛な寄稿

2011.3.19.01:15 サンケイ

福島第1原発への海水投下をめくり、北沢俊美防衛相が任務決断の責任を折木良一統合幕僚長に転嫁するかのような発言をしたことに対し、自衛隊内から反発の声が上がっている。

北沢氏は陸上自衛隊のヘリが17日に原発3号機に海水を投下した後、「私と菅直人首相が昨日(16日)話し合いをするなかで結論に達した」と政治主導を強調する一方で、「首相と私の重い決断を、統合幕僚長が判断し、自ら決心した」と述べた。

この発言について、ある自衛隊幹部は「隊員の身に危険があるときほど大臣の命令だと強調すべきだが、逆に統幕長に責任を押しつけた」と批判する。北沢氏は17、18両日の2度の会見でヘリの乗員をねぎらう言葉も一言もなかった。

首相も最高指揮官たる自覚はない。首相は17日夕、官邸での会議で「危険な中での作戦を実行された隊員はじめ自衛隊のみなさんに心から感謝を申し上げます」と述べたが、地震発生以来、一度も防衛省を激励に訪れたことはない。

こうしたなか、現職自衛官の悲痛な訴えが18日、インターネットメディア「JBpress」に載った。海水投下も記述したうえで、こう締めくくっている。

《隊員を喜んで死地に向かわせるのは、自衛隊最高指揮官である内閣総理大臣をはじめとする、防衛大臣などの各級指揮官の堅確な意志と熱誠を込めた言葉です。：死地に向かわせるなら、指揮官陣頭であるべきです》

首相、北沢氏は謙虚に一読すべきである。……(以下略)

特別扱いするのか！

2011.3.14 タリフジ

東日本大震災の被災者を救出するため、世界各国から緊急救助隊が駆け付けているが、なぜか、中国と韓国の救助隊

だけを外務副大臣が空港で出迎えていたことが分かった。菅政権の特異な感覚が明らかになった。

韓国の救助隊(5人)は12日、中国の救助隊(15人)は13日に羽田空港に到着。それぞれ、高橋千秋副大臣と伴野豊副大臣が出迎えたという。同盟国であり、空母ロナルド・レーガンや多くの在日米軍を動員、約150人もの大救助隊を派遣した米国をはじめ、英国(63人)、シンガポール(5人)など世界各国から救助隊は駆け付けているが、副大臣が出迎えたのは中韓2国だけ。

菅政権は、韓国に一方的に古書を引き渡すことを約束したり、尖閣沖での中国漁船衝突事件の映像を隠蔽するなど、中韓2国を優遇する姿勢が目立つ。日本史上最大の大震災で閣僚クラスは大忙しのに、なぜ、そこまで特別扱いするのか！？

※ 放射能バニック 菅蔽政府にワリリ一激怒「信用できぬぞ」

2011.03.18 Az

東京電力福島第1原発の事故を受け、米国内で「反日感情」が高まっている。東日本大震災直後は同情も多かったが、菅直人政権の原発危機への対応のひどさに、ヒラリー国務長官までが「日本は信用できない」と激怒。米メディアが「今週末にも、太平洋を超えて放射性物質が到達する」と報じたこともあり、西海岸はパニック状態になりつつある。

「日本の欠陥指導者が危機感を深める」ニューヨーク・タイムズ紙は16日、こんな強烈な見出しで、菅首相が臨機応変の対応力や官僚機構と円滑な協力関係に欠けるため、国家的危機への対処を大

幅に弱くしている、と指摘した。  
今週に入り、米政府やメディアは総じて日本に敵しい。悲惨な大震災への同情はどこかに吹き飛んでしまった。

米国在住のジャーナリストは「ホワイトハウスや議会で連日、日本の原発危機に関する会議や公聴会が開かれているが、『日本政府や東電は情報を隠蔽している』『混乱して無政府状態』といった反応ばかり。かなり緊迫している。これを放置すると、反日感情がさらに高まる」と警告する。

米メディアも17日朝から「金曜日にも太平洋を超えて米国に放射性物質が到達するから危険」と派手に報じ、欧州やアジアのメディアも「天災が人災に発展」「事実を隠蔽した」などと報道。

菅政権の対応の遅さと甘さは、米国民に『日本人は放射能漏れを起こした厄介者』と思わせかねない」と語る。

菅政権は、日本を世界の孤児にする気なのか。

#####  
“菅”主導で大混乱！パフォーマンス優先の“人災”だらけ

NOTHING ZAKZAK

計画停電の大混乱は、菅直人首相(64)の“政治主導”が元凶との見方が強まっている。交通機関や企業、学校、医療機関などが幅広く影響を受けるのに、菅首相は各省庁との調整をせずに突っ走ったようなのだ。天災による被害は防ぎようがないが、トップに能力があれば避けられたはずの混乱が生まれたとすれば、“人災”以外の何者でもない。  
「一体どうなっているんだ」

菅首相は15日朝、東京・内幸町の東京電力本社を訪れ、担当者を面罵した。福島第1原発の爆発事故の連絡が遅れたことを批判したものの、自らの情報収集能力不足は棚に上げたまま。計画停電では、無計画ぶりを露呈している。

電力の安定供給は国家の基本。交通機関も企業も学校も医療機関も、電気がなければ立ちゆかない。計画停電という前代未聞の施策を実施するとなれば、当然、国交省や経産省、文科省、厚労省など関係各省の課長、局長クラスを集めた「関係省庁連絡会議」で緻密な計画を立てるのが常識だ。だが今回、菅政権は会合をまったく開いた形跡がないのだ。

13日夜に計画停電が決まったのに、14日未明になっても国交省では「何度問い合わせても、どこの電気が止まるのか東電から一度も説明がない」(鉄道局職員)状態。14日には鉄道各社が相当数の電車の運行を中止し、首都圏は大パニックに陥った。国交省が東電に鉄道への安定供給を求めたのは14日になってからで、15日未明になってやっと、計画停電中にも鉄道会社には一定量の電力供給することが発表された。いわば泥縄式の対応だ。首相官邸関係者は「菅首相が『政治主導』という名のパフォーマンスに猛進しているうえ、本来、省庁間の調整を行うべき官房副長官が役割を果たしていない。計画停電の実施は当初、13日午後6時半に東電の社長が発表する予定だったが、『首相が先に国民に呼びかける』という理由で同日午後8時になった。これで対応が遅れた」と内情を説明する。未曾有の危機に陥ってもなおパフォーマンスを優先する、どうしようもない首相だというのが、

菅首相がまたまた現地視察へ  
菅首相が21日、またまた被災現地を視察するという。今回は宮城県石巻市と福島第1原発から20キロのサッカー練習施設「Jヴィレッジ」だ。よいいなことはしないほうがいい。周辺はうしろからはがいじめにしてでもやめさせるべきだ。首相の視察受け入れとなると、現地の準備は大変だ。警備にも相当の人員をさかなくてはならない。不眠不休でやっている現地の担当者たちにとって、これ以上の迷惑な話はない。だいたい、巨大地震発生翌日、被災地をへりて視察。それだけならまだよかったが、福島原発に着陸してしまい、復旧作業に多大な支障を与えたという批判を忘れたか。  
#####  
蓮舫議員に国民の怒り爆発 「あんたが削った分だけ死者が出る」  
ロケットニュース24 3月13日  
元タレントであり、内閣府特命担当大臣でもある蓮舫さんが、インターネット「コミュニケーションサービス」で「皆様、余震に十分な備えをお願いします。落下物におきをつけください」と発言し、大炎上している。  
一見、東北地方太平洋沖地震で被災した人たちに対する温かい言葉に聞こえるが、「災害対策予備費」、「学校耐震化予算」、「地震再保険特別会計」を事業仕分けしたひとりが蓮舫さんであり、他の「Twitterユーザーから」お前がくだらないパフォーマンスで削ったからだろ！何をきれいな事言ってる？「や」削らした4000億円でこれだけの人が救われるか」などのバッシングを受けているのである。

阪神大震災での辻元清美の言動を忘れるな  
3月13日 ANN  
何を血迷ったのか。枝野幸男官房長官は13日午後4時50分からの記者会見で、元国土交通副大臣の辻元清美衆院議員を災害ボランティア担当の首相補佐官に任命したと発表しました。ふざけるな！！

それにしても、阪神大震災といい、今回の東北大震災でも、左翼亡国政権下で発生するのは皮肉なことだ。  
”阪神大震災での辻元清美の言動を忘れるな”  
阪神大震災時には、自衛隊より先に現地入りした辻元清美は、被災者に次のようなピラを配った。社会党の村山政権のために、自衛隊の出動が遅れ、犠牲者が増大したのは周知の通りである。  
危機管理意識も能力も無い辻元清美が災害ボランティア担当の首相補佐官とは、呆れてものが言えない。

「自衛隊は違憲です。自衛隊から食料を受け取らないでください。」  
「ひもじくても我慢しましょう！」  
「お腹が空いても我慢しましょう！」  
「自衛隊から食べ物ももらってはいけません」  
「ミルクがなくても我慢しましょう」

辻元本性現わす  
March 17, 2011 NK  
米軍ヘリが予告なく避難先に着地して物資投下。被災者は大喜びでも民主党の辻元補佐官は、米軍の救援活動に抗議。「事前協議なしの着陸は安全を無視した行為。」と。

「自衛隊は違憲です。自衛隊から食料を受け取らないでください。」  
「ひもじくても我慢しましょう！」  
「お腹が空いても我慢しましょう！」  
「自衛隊から食べ物ももらってはいけません」  
「ミルクがなくても我慢しましょう」

# ボランティア行ってもいいが何もしない

自然災害が起きる。阪神淡路大震災もそうだった。どっとボランティアが押し寄せる。それでいいのだろうか。

「ボランティア、行ってもいいが使えるな。」盟友村田春樹氏の一句だ。この一句、氏の感性。生涯付き合えると思った。

原文は糞になっていたが、「糞」ではね・・・さて、そもそも「ボランティア」の言葉の定義が広すぎる。広義的な援助隊もボランティア。組織的なボランティアは久米宏氏の2億円寄付。ここで批判したい「ボランティア」とは物見遊山のボランティアごっこの中。まず、村田春樹氏、平田文昭氏、Aさんのコメントを紹介したい。

#####  
わたしは阪神大震災の被災者でした。震災から1ヶ月くらい経ってダイブ落ち着いてきてもボランティアって正直迷惑でした。何故なら彼らのトイレの心配をしなくてはならないのです。その期間彼らは排泄しなければいのですが・・・被災地では食べ物より何より困るのは排泄でした、特に女性は。ボランティアは排泄物も一緒に持ってくるのです。我々は彼らのいないところで「金だけ送ってくればいいのに。」と言っていました。

自分たちがボランティアの自己満足と宣伝のダシに使われているような惨めな気分になりました。田中某は神戸でボランティアの真似事をして名前を売って数年後に長野の県知事になりました。まし

て今のような混乱時に素人に来られては大迷惑です。今はプロの出番なのです。なお復興途上の神戸の駅前に「俺たちは見世物じゃない！ 物見遊山で見物に来るな！」と言っ張り紙が多数貼られました。事実です。

#####  
「平田文昭の語り場」より  
<http://blog.hitatafumaki.com/>  
3月13日、2011

災害ボランティアをやるのかな、と思っている皆さんへ  
枝野官房長官は、辻元代議士を災害ボランティア担当の首相補佐官に任命するという。

阪神淡路大震災のとき、まだ代議士ではなかったが、ボランティアに関し経験があるからだという。  
辻元代議士一派のボランティア礼賛は、阪神淡路大震災で軍への出動要請が遅れたことを正当化するものだった。あの地震でボランティアが活躍した、この口実で、NPO法が成立した。五年、十年と節目の時には当時のボランティアの「その後」、「節目での活動」などがテレビで放映された。やっつことは、蠟燭を並べるような「イベント企画ばかり。つまり公金であそんでいるのだ。こんなものは、税金の無駄づかい。

平成7年以來、ずっと地道に地元で再建作業をやってきた人たちは余り紹介されることなくボランティアと称する「公金遊び人」ばかりが脚光をあびた。

こういう愚行に寄生してきた辻元代議士こそ、今回の事態の対策責任者から排除すべきだ。

政府がもし本当にボランティアを使いたいなら、まず必要なことは、ボランティアに必要とされる準備を、今から政府が提示しておくことだ。現在は救出作業、当面の食料・水などの供給がおこなわれていない。軍、警察、消防、医療機関、行政が活動している。土地勘のない人間が、「思い」だけでうろついて迷惑する。車で向かってでもガソリンが切れる。そのガソリンを被災地で補給しようというのだろうか。車で逃げた人は、夜の暖を車の暖房をかけてとっている。その人たちのガソリンをボランティアが消費して、それが人助けだろうか。便所の不足もいわれている。今後、ボランティアにいくという人は、最低次のものを今から準備すべきだ。全部自分のためのものだ。

- 1 食料 (食べるための箸、匙など含む)
  - 2 水
  - 3 クロ・小便を始末する機材
  - 4 医薬品
  - 5 照明器具
  - 6 筆記用具
  - 7 通信道具
  - 8 毛布など防寒具
  - 9 暖をとるための設備
  - 10 自分が使える工作用具と資材
  - 11 作業に必要なヘルメット、衣服、手袋、長靴など
  - 12 時計・地図・磁石
  - 13 裁縫道具
  - 14 結束のための綱・針金・テープなど
  - 15 衛生用品
  - 16 往復のガソリン
- なにも用意なく、「自分探し」でおしかける

のはやめよう。これは、取材陣にもいえることだ。行かないけれど、物を送るボランティアもある。でも、それは有害無益。物は分別しなければ、分配できない。誰が分別するのか？ ボランティア？ 阪神淡路大震災でも勝手に物を送りつけてきた。それを分別するだけで人手と場所とエネルギー(暖房など)が必要だった。そんなことに人手を使うなら、瓦礫の除去をやったほうがいい。分配できず、いまでもどっかに積んである雑物がまだあるはずだ。

日本の生産力は巨大で、それはほぼ無傷だ。規格ごとに分類された物資なら、分配もやりやすい。身近な衣類を勝手に送るのは、自己満足、迷惑行為と知ろう。被害に会っていない者が、深刻びつて善人ゴッコにふけるのは、被災者への冒瀆だ。2時間すぎると、被災者は、当日の激動の混乱から我をとりもどす。そうしたとき、どっと大きな心理的恐怖や暗黒がおそってくる。遺体への対面も起こってくる。そういうとき、メディアやボランティアが認知顔の同情面であつくと、被災者を更に傷つける。災害ボランティアは、自己満足の感傷のためであつてはならない。

#####  
Aさんよりメール  
20日、内閣府「防災とボランティア検討会」が開かれ、冒頭、辻元清美補佐官が挨拶しました。  
話の冒頭から「アレッ」と思ったことは、犠牲者への心からの追悼の念や被災者への労わり、悲しみの共有という情感、言葉がまったくなかったことです。そして阪神・淡路大震災以来、国から何の支援もなく、黙々と災害ボランティア活動

を続けてきた歴戦の強者たちに向かって「被災地のニーズにかなった、被災者の心になかなう活動をしてもらおうために・・・調整したい」とのたもつたのですから、開いた口がふさがりませんでした。あなたに言われる筋合いじゃない、「ニーズや心にならないうえに」それはあなたのことでしよう・・・そう思ったのは私だけだったでしょうか。

他にも民主党議員が来ていましたけれども、彼らの関心事は「被災地道路の通行許可証をどう出そうか？」ということだけのようには聞かえませんでした。なにしろ官房長官直属の「震災ボランティア連携室」の室長は「湯浅誠・内閣府参与」つまり、日比谷テント村村長で、貧困なたらと戦うという極めてイデオロギー体質の方なんです。いったい、いつ内閣府参与になったんだ。民主党もすごいことをやると改めて思いました。

災害ボランティアの世界は右から左までの各種団体、また宗教団体が多数同居する世界です。なるべくイデオロギー、宗派性を持ち込まない、そういう議論をしないという暗黙の了解があるのですが、被災者支援にテント村やホームレス支援の概念を持ち込むのではないかと、二ユートラルなボランティア団体は眉をひそめています。(言うまでもありませんが災害の被災者とホームレスとは、その支援の概念が違つて思います)

今度の大地震は空前の規模であり、阪神・淡路大震災以来の経験知は必ずしも通用しません。固定した観念では被災者をサポートすることができないのです。そういう極めて大事な場面で、ここまでイデオロギー的体質の人で固めるか、と暗澹たる気持ちになりました

#####  
もう20年ほど前になると思います。

福井県三国沖でロシアのタンカーが転覆座礁し、積荷の石油が流出し、海岸が油だらけになる事故がありました。オイルまみれの海鳥や、多くのボランティアが杓でオイルを汲むという作業がTVに写りました。このときもどつとボランティアなる、私たちがみると遊び人しか思えない人達が押しかけてきました。当時商工会のメンバーで、オイル処理の役を担っていた親父はカンカンでした。食事は何処ですか。宿泊は何処ですか。それはイヤダナナ。ちょっと用事がありますので今日はこれで・・・。バカやろ。ふざけるな。二度と来るな。これが父の口癖でした。中には真摯な人もちらろいます。TVはその人だけを映してもはやすのです。要は「ヤラセ」。大半は饅頭のみ食べただけを食べ、くい散らかして帰ってしまうわけです。誰かあとの皮を食べるのか。私の親父は田舎モンの素朴な原日本人。ボランティアは真摯な人達と信じているわけです。相当ショックだったらしく、20年たった今でも愚痴ります。

ある区画の復旧整理をするのにボランティア10人と、自衛隊5人。どちらに着てほしいかという話です。

ボランティアには指揮命令系統がありません。すなわち組織力がないうえです。はつきり言って「寄せ集め」なのです。災害の普及には個々の「支援したいという」気持ちと「能力・知識」と両方いるのです。たとえば医者や看護婦。土建屋の親父がトラックに重機を積んで飛んで行く。等。特別な技能や機材がある人。特に復旧初期の段階では専門の技術があ

# 平田文昭緊急発言

## 国民の資産を守る特別立法を！

― 昭和20年を繰り返すな ―

3月 12th, 2011

日本の資産をまもろう。

3月11日の地震被害により、被 ↓

る人以外は邪魔にしかありません。震災のあと神戸である人が言っていました。

「ボランティアの人が帰ってから誰かいてほしいんだよね。」と。

それなら一般人に何ができるのか。数年前、安達ゆみ主演のTV番組、確か「家なき子」。「同情するなら金をくれ」という場面がありました。まさにお金だと思

います。まずお金を集めましょう。サラリーマンは毎日1時間残業しましょう。

プータロウは時給600円でいいからアルバイトを始めましょう。そしてその給与を供出するのです。

個々からは政策になりますが、そのお金で政府は、プロの復旧請負組織を雇う。

プロの定義は「指揮命令系統がある団体、グループ」。それで十分だと思います。

たとえば〇〇大学の野球部には△△町1丁目の救援。〇〇産業の第1営業部は△△町2丁目の救援を任せる。そして部長なり責任者に仕事を説明し、「業務」として、救援、復旧支援をやってもらわ

けます。自己完結もできないような中途半端な気持ち、特段の技術もない人がボランティアと称して集まっても、それは烏合の衆で地元が迷惑するだけ。自己満足

の空虚な人助けごっこです。

このまま行くと、辻元清美あたりが仕切りだし、復興がとんでもない方向へ行くのを心配します。

災地では地価が暴落するはずだ。生活再建のため、ただに近い値段でも現金化する必要のある人もでてくるだろう。こういふとき、外国人・資本に日本の資産を奪われないように政府は措置をしなければならぬが、日本が嫌いな「なりすまし日本人政権」にそれができるかな。昭和二十年の敗戦以来、日本の土地が奪われた歴史を思い起そう。

〈終戦直後の川崎で〉

うちも朝鮮へ帰ろうと思ったけど、切符がなかなか取れなかった。その時はヤミでしか手に入られなかったから。川崎の駅のキング通りは終戦直後は、みんな焼け野原で店は一軒しかなかった。土地は誰のものでもなくて、みんな勝手に自分の土地にした。うちは韓国に帰るつもりだったから、そういうことはしなかった。向こうのみんなが日本に帰ってきたから、自分たちも帰るのをやめた。今ある川崎駅近くの店は、一軒残っていた呉服屋以外、みんな戦後勝手に振り分けた土地の所有者が代々継いできた店。

〔川崎在日ロシア人生活文化資料館〕

こういうことにならないよう国会のまともな勢力は、緊急立法をだしてほしい。子供手当でなんぞ配っている金があったら、この地震の復興にまわすのが筋だ。資産を底値で処分しなくてはすむよう、個人、企業に特別融資をする制度の創設だ。土地、企業の資産、非上場企業の株式などを手放さなくて済むようにしなければ。また外国の国富基金がこれを好機に東北地方の資産を底値買いくことも阻止しなければならぬ。それは企業や土地をまもるだけではなくて、そこに働く人たちの雇用を守ることで、技術の海外流出をふせぐことにもなる。

# 国際的「火事場泥棒」の行状

「#おめー」の「#苦勞さん」というのか、日本がこのような状況下にあるのに各国、日本侵略工作活動だけは忘れません。中、露、韓、いや最大の泥棒ちゃんば米国かも。

#####

## 【火事場泥棒、中国編】

3月14日 本日、仲間石垣市議および海保より情報

「中国漁業監視船が震災発生後より尖閣付近、日本領海近くに展開。昨日夜いったん海域を離れた」

## 大震災に乗じて尖閣奪取を「中国の好機」と香港紙

2017/03/19-1840 香港時事

香港紙・東方日報は19日の論評で、日本が大震災で混乱している機に乗じて、中国は尖閣諸島(中国名・釣魚島)を奪取すべきだと主張した。

香港では日本に対する支援ムードが広がっており、同紙のこうした主張は異色論評は「中国が釣魚島を奪回するには、コストとリスクを最小限にしないでならず、今が中国にとって絶好のチャンスだ」との見方を示した。

論評は「日本が強い時、中国は手出しができません、日本が弱っても手を出さずとしないのであれば、釣魚島はいつ取り戻せるのか」と訴えている。

## 【火事場泥棒、ロシア編】

露軍機が領空接近、日本海で日米共同対応偵察 自衛隊機が緊急発進

2017.3.17 19:22 サンケイ

ロシア空軍の情報収集機が17日、日本海で日本領空に接近したことが分かった。領空侵犯の恐れがあるため、航空自衛隊の戦闘機が緊急発進(スクランブル)して対処した。日本海では強襲揚陸艦「工セックス」など米軍艦艇3隻が酒田港(山形県)沖に集結し、そこから第31海兵遠征部隊(沖縄県名護市など)が仙台空港の復旧支援活動に展開している。ロシア機は日米共同対応を偵察する狙いがあったとみられる。

接近したのはロシア空軍の電子情報収集機「Ilyushin IL-20 Coata」。17日午前10時ごろから北海道西方を南下し、北陸地方沖の日本海まで飛行した後、戻す際にロシア方面に飛び去ったという。領空侵犯はしていない。

航空自衛隊機は東日本大震災への支援活動を終えて通常の警戒態勢を敷いているため、緊急発進に支障はなかった。ただ、C-1輸送機による水や物資の輸送は活発化しており、ロシア機の接近が空自の調整業務全体の障害になった可能性もある。ロシア軍は昨年12月の「日米共同統合演習」の最中に、能登半島沖の訓練空域に哨戒機2機を進入させ、演習を妨害している。

## 【火事場泥棒、韓国編】

網渡りの韓国 3月16日 加藤哲夫氏  
<http://kkmoblog7of2.com/blog-entry-702.html> の

今回の東日本大震災の被害の凄まじさは世界中に発信されています。

その事によってパキスタン、アフガニスタン、スリランカなどの多くの極貧国が「日本はこれまで多額の支援をしてくれた。日本のような国にとっては大した額ではないが、せめてもの助けになれば」と言って支援の申し出が相次いでいます。このような状況の日本に借金を申し込む国があるでしょうか。実はあるのです。それは破綻寸前の韓国です。韓国は大震災の前から決まっていた日韓外相会議を決定すると民主党に申し出ています。民主党も快く了解しています。その中身は日韓通貨スワップ協定の継続です。

2年前リーマンショックで韓国は実質破綻状態でした。アメリカ投資ファンドは資金を回収するまで韓国を生かしておく必要があります。そこで「米韓通貨スワップ協定」を締結しました。ところが暴落が止まらないために韓国は「日韓通貨スワップ協定」をアメリカの後押しで強引に日本銀行と締結してやっと暴落が止まりました。

その「日韓通貨スワップ協定」の期限が去年10月に終了しました。韓国はこの協定を継続しないと破綻に追い込まれます。つまり韓国が危機になった場合の保証人がいなくなったということです。日本という保証人がいないと投資家はいつせいに引き上げる可能性があります。だから韓国は必至なのです。しかしこの恩知らずの国は前回の日韓通貨スワップ協定に日本は中国、アメリカより遅れて参加した事に対して韓国は感謝の言葉でなく「だから日本は信頼のおけるリーダーになれない」と言い放ったのです。07年韓国が破綻、その時MFの支援以外に日本が個別の支援をし

た時、後に立ち直ったから、韓国高官は「MFはありがたかったが、日本からは迷惑だった」と発言しています。この国には心底あきれ果てます。それも日本にお金を返してから言うのであれば筋が通りますが、今日でもまだ多額の残が残されています。日本は過去、地下鉄工事、製鉄所、オリンピックの際のインフラ整備、日韓WC時の韓国内のスタジアム、その他数え上げればキリがないほど韓国には援助しています。しかしこの国は円借款の踏み倒しは常です。今回の震災で世界中の人達が日本支援に立ち上がっている中でこの国はまだ日本からカネをせびるつもりです。以下略

## 【火事場泥棒、米国編】

日本政府にイラッ…米軍最強放射能スペシャリスト緊急来日

3月17日 AP

東日本大震災で被災した福島第1原発の事故で、東京消防庁のハイパーレスキュー隊は19日未明、3号機への放水作業を行った。原発危機が依然として続くなか、米国防総省は事態悪化に備え、放射能被害管理などを専門とする約450人の部隊を日本に派遣する準備に入った。大規模な部隊派遣は、日本から正確な情報が届かないことへのいらだちを示すと同時に、米国が事態を深刻視していることの表れといえる。最悪の事態回避に向け、米国の動きが活発化してきた。ウィラード米太平洋軍司令官は17日、専門部隊約450人を太平洋軍に応援派遣するよう国防総省に求めたと表明した。

※事故の詳細の資料を全部持っていかれるでしょうね。